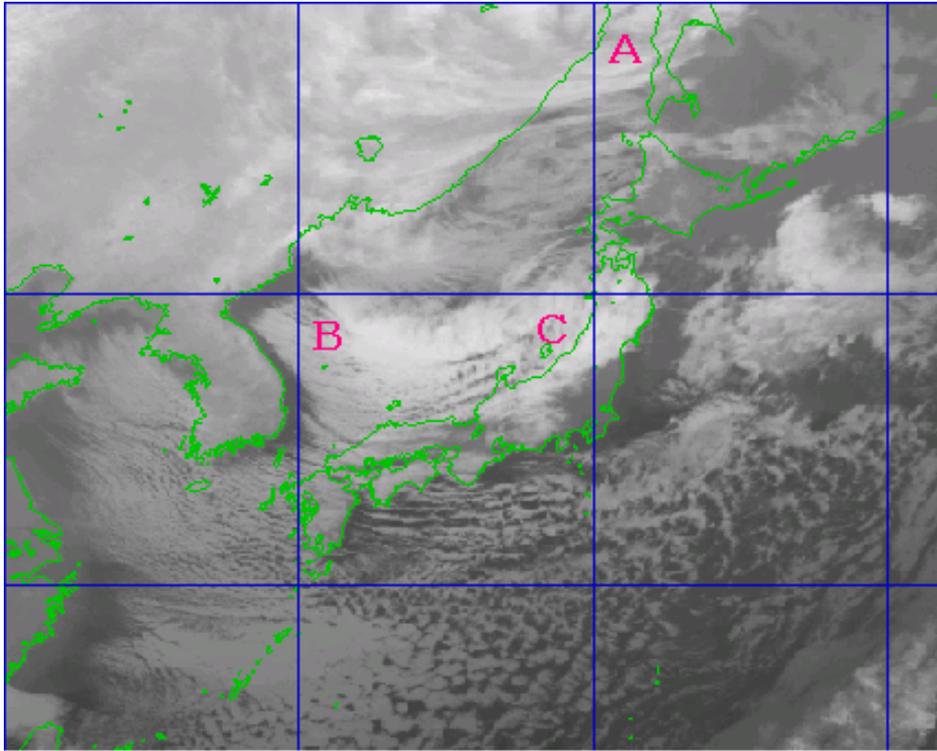


気象衛星画像

—今月のトピックス—



2003年1月29日09時の赤外画像

強い寒気による日本海の対流雲域

写真は29日09時の赤外画像である。間宮海峡付近にはA付近に中心を持つ発達した低気圧がある。一方、黄海から東シナ海、日本海や日本の南海上には寒気に伴う筋状の対流雲が見られる。この日、日本海上空500hPa(約5100m)には -42°C の強い寒気が南下しており、日本海中・西部のBからCでは「白く輝く積乱雲」が発達している。

この強い寒気により、29日の21時までの24時間に富山で45cm、山形で38cmの降雪量を観測するなど、北陸地方から東北地方日本海側を中心に大雪となり、鉄道や航空機などの交通機関に大きな影響がでた。

(気象衛星センター)